

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(令和元年8月分)

令和元年9月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ. スルプスカ共和国(RS)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

(3) 日・BH関係

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

(2) 経済協力

(3) 民間セクター

(注: 以下は、当地紙報道等の公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●大統領評議会、2019年国家予算を承認(7月31日)

大統領評議会は2019年の国家予算案を承認。同予算案は、現閣僚評議会が今年1月に承認し、大統領評議会に対して送付していたもので、成立には今後BH議会による承認が必要。一方で、ドディック大統領評議会メンバー(セルビア系)は今後の展開に関して、新閣僚評議会の発足までBH議会は予算承認を行わないとの見通しを述べた。

●シャロビッチSDS党首、SNSD抜きの連立交渉の可能性に言及(2日)

シャロビッチSDS(セルビア系野党第一党)党首(現対外貿易・経済関係相)は、昨年10

月の総選挙後の新閣僚評議会発足が遅れる中、今後、現在SNSDとともに連立交渉に参加しているセルビア系政党の民主人民同盟(DNS)およびRS社会党(SPRS)に対して、SNSD抜きの連立交渉を提案する可能性に言及。一方でマリヤナツSPRS副党首は、同党がシャロビッチ党首の提案に応じる予定はない旨発言している。

●3民族主要政党、政権発足に向けた党書に合意(5日)

SNSD(セルビア系最大政党)、SDA(ボシュニャク系最大政党)、HDZ(クロアチア系最大政党)の3民族主要政党は、EUによる仲介の下、新閣僚評議会の早期発足を目指す旨の党書に合意。その一方で3党党首は、連立交渉の争点となっているNATOへの年次国家

計画(ANP)の提出問題に関しては依然として合意を形成できていない。同党書の履行期限は、合意から1か月後の9月5日。

●ズビズディッチ新BH議会下院議長が就任(6日)

ズビズディッチ新BH議会下院議長(ボシュニャク系)が、クリシュト前議長(クロアチア系)に代わり就任。BH議会上下両院の議長職は8か月ごとの輪番制であり、ズビズディッチ新議長の任期は2020年4月5日まで。なおズビズディッチ新議長は、新閣僚評議会の発足まで現閣僚評議会議長職を兼任する予定。

●大統領評議会、新閣僚評議会議長の任命で合意できず(20、27日)

大統領評議会は、新閣僚評議会の議長任命に向けて2度の会合を招集したものの、いずれも合意できず。同議長の任命をめぐるのは、コムシッチ大統領評議会議長(クロアチア系)およびジャフェロビッチ・メンバー(ボシュニャク系)が、連立交渉で争点となっている年次国家計画(ANP)のNATOへの提出を議長任命の条件として要求する一方で、ドディック・メンバー(セルビア系)がそれに反対している。

(2)エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●SDP所属のBH連邦下院議員5名、同党からの離党を表明(26日)

SDP所属のBH連邦議会下院議員5名が同党からの離党を発表。同5名は今後、9月7日に結党予定のBH社会民主党(BHSDP)に参加する予定。BHSDPの中心メンバーは、トゥズラ・カントンにおける連立交渉問題をめぐり7月にSDPから除名されたビエディッチ前S

DPトゥズラ・カントン支部長らになる見通し。なお、今回の5議員の離党により、SDP所属のBH連邦下院議員は16名から11名に減少した。

イ. スルブスカ共和国(RS)

●ドディック大統領評議会メンバー、中央政府機構からのRS離脱の可能性に言及(27日)

ドディック大統領評議会メンバー(セルビア系)は、9月5日までに新閣僚評議会議長の任命が完了しない場合(同日は新政権発足に向けた党書の履行期限)、国防省、BH軍、裁判所・検察庁などの中央政府機構からRSが離脱する可能性がある旨発言。これに対してコムシッチ大統領評議会議長(クロアチア系)は、同発言は1992年にBH紛争を引き起こした当時の政治家達の行動と同じであると批判した。

2. 外政

(1)多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●PIC・SB、新閣僚評議会の早期発足を求める共同声明を発表(30日)

デイトン和平合意の履行支援を行う和平履行評議会の運営委員会(PIC・SB)は、BH国内の各政治勢力に対して、昨年10月の総選挙後に停滞している新閣僚評議会の発足プロセスを早期に完了するとともに、憲法及び国内の法律の遵守、中央政府機構の尊重などを求める共同声明を発表した。

(2)二国間関係

●BH・クロアチア外相会談(1、11日)

ツルナダクBH外相(セルビア系)は、クロアチアのグルリッチ＝ラドマン外務・欧州担当相

との間で会談を実施。両大臣は、両国間で懸案となっているクロアチア政府による両国国境付近への核廃棄物処理施設の建設問題、および、BH南部のネウム市沖でクロアチア政府が進めるペリェシャツ橋建設問題等に関して協議を行った。

(3) 日・BH関係

●坂本大使のコムシッチ大統領評議会議長との会談(5日)

坂本秀之駐BH日本大使は、サラエボのBH大統領府を訪問し、コムシッチ大統領評議会議長(クロアチア系)との間で会談を実施。両者は会談の中で、日・BHの二国間関係および現在のBH政治情勢などにつき話し合った。

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●第26回ゼニツァ・ビジネス・フェアが10月に開催予定(8日)

欧州各国からの企業が参加するゼニツァ・ビジネス・フェアが、本年10月1～5日に開催される予定。今年で第26回目を迎える同フェアはBH最大のビジネス・フェアであり、今年は今時点でクロアチア、イタリア、デンマークなどから多数の企業が出展予定。

(2) 経済協力

●EU、欧州高速道路5c線の建設に1500万ユーロの追加支援を実施へ(1日)

BH政府と欧州復興開発銀行(EBRD)は、BH南北をつなぐ欧州高速道路5c線の建設に対して、EUが1500万ユーロの追加資金援助を実施する旨の合意を締結。同資金は今後、ヨホバツ・ルダンカ(ともにRS)区間の建

設に充てられる予定。同合意に関してベバングダBH財相は、高速道路建設によるEU圏との連結性向上はBH経済の更なる発展に繋がるとの期待感を示した。

●EU、BH国内の難民対策に1000万ユーロの追加資金援助を決定(19日)

欧州委員会は、BHに流入する難民対策支援として、BH政府に対する1000万ユーロの追加資金援助の実施を決定。これにより、難民対策に関するEUの対BH資金援助額は、2018年からの累計で3400万ユーロに上る。

(3) 民間セクター

●2018年の対BH海外直接投資額は3億ユーロ超に(13日)

BH中央銀行(CBBH)は、2018年の対BH海外直接投資額が約7億8,340万KM(約3億9,170万ユーロ)を記録したと発表。同数値は名目値で2017年とほぼ同額。国別の投資元上位および主な投資先は以下の通り。

国別投資元上位

1. ロシア	約7,010万ユーロ
2. クロアチア	約5,305万ユーロ
3. オランダ	約4,700万ユーロ

投資先上位

1. 金融サービス	約7,280万ユーロ
2. コークス・石油精製品	約6,790万ユーロ
3. 小売業	約4,385万ユーロ